

バロック・ソナタの夕べ

“ヴィヴァルディ”珠玉の協奏曲



廣瀬加奈子 (Vn.)



川出三和子 (Vc.)



福居由花 (Vn.)



伊藤玉木 (Cb.)



小坂ゆかり (Vn.)



杉浦道子 (Cem.)

Antonio Vivaldi

2023
11.3 金 18:30開演
[18:00開場]

ザコンサートホール
名古屋・伏見・電気文化会館

全自由席
税込

3,500円 (当日 4,000円)

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※やむを得ぬ事情により出演者、曲目等が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

Program

コレッリ: ヴァイオリンソナタ Op.5-9 イ長調

ヴィヴァルディ: 調和の靈感 Op.3 より

協奏曲 No.6 イ短調

No.8 イ短調

No.11 ニ短調 他

プレイガイド / アイチケット 0570-00-5310 <https://clanago.com/i-ticket>
芸文プレイガイド 052-972-0430

マネジメント・お問合せ / クラシック名古屋 052-678-5310

企画・監修 / 長谷川尚之 後援 / 名古屋市、名古屋市教育委員会



廣瀬加奈子 (Vn.) *Kanako Hirose*

金沢市生まれ。3歳よりヴァイオリンを始める。石川県立辰巳ヶ丘高等学校芸術コース卒業。愛知県立芸術大学器楽科卒業、同研究科修了。

チェコに2年間留学。現在は愛知県在住。様々な演奏活動、演奏指導を通して音楽の素晴らしさを伝えている。ユニット音庭、グラナートカルテットメンバー。



福居由花 (Vn.) *Yuka Fukui*

和歌山県出身。京都市立堀川音楽高等学校卒業。

愛知県立芸術大学を経て、同大学院音楽研究科修了。京都国際音楽フェスティバル、アジアユースオーケストラ参加。

これまでに中西忠、木村和代、瀬戸瑠子、V.マリニン、白石禮子の各氏に師事。現在、愛知県室内オーケストラヴァイオリン奏者。



小坂ゆかり (Va.) *Yukari Kosaka*

愛知県立芸術大学音楽学部器楽科卒業。桑原賞受賞。

ヴァイオラを故 浅妻文樹氏、百武由紀氏に師事。卒業後長期に渡り、セントラル愛知交響楽団の契約団員を務め、現在は室内楽、オーケストラ共に客演奏者として活躍。

ミュージックアベニュー伏見ヤマハ音楽教室講師、名古屋パストラーレ合奏団、グラナートカルテットメンバー。

テットメンバー。



川出三和子 (Vc.) *Miwako Kawade*

10歳からチェロを始める。

金城学院大学国文学科卒業後演奏活動を始め国内外の講習会、マスタークラスに参加。プラハ音楽院留学。名古屋フィルをはじめオーケストラ客員としても活動、国内外のソロ、室内楽演奏会に多数出演。

2010年までプラハにて室内楽奏者として様々な演奏家とのコラボレーションに参加、UNESCO主催コンサートなど出演。現在はヤマハミュージック講師。金城学院中学、高等学校管弦楽部指導者。



伊藤玉木 (Cb.) *Tamaki Ito*

名古屋芸術大学音楽学部器楽科卒業。コントラバス奏者としてクラシックから Jazz ポップスまで幅広いジャンルで活動。新感覚ユニット NewTonesメンバー。宗次ホールでのランチタイムコンサートは13回に及び、令和2年3月には2ndアルバム「万有引力2」を発売。椋山学園大学シンフォニーオーケストラ低弦トレーナー 北名古屋シティ管弦楽団 副音楽監督。



杉浦道子 (Cem.) *Michiko Sugiura*

鈴谷(岐阜)高等学校音楽科を卒業後、渡欧。ルツヴェル音楽院及びローザンヌ音楽院ピアノ科卒業後、J.マルビル女史と出会いチェンバロを学び始める。ローザンヌ音楽院チェンバロ科卒業後、ルガノ音楽院でも学ぶ。スイスではカメラータ・ド・ローザンヌ、ヴェルビエ・フェスティバル室内オーケストラ等で通奏低音奏者としても活躍。現在は東海地方を中心にバロック・アンサンブル、チェンバロのコンサートの企画・演奏、オーケストラでの通奏低音奏者として活動。チェンバロ・ピアノの後進指導にも力を注いでいる。好きな作曲家はルイ・クーペラン。昨年、名古屋在住のチェンバロ製作家安達正浩氏により、リヨンの製作家クリスチャン・ロールモデルの楽器が完成し、益々フレンチ・バロックの世界に魅了されている。東海バロックプロジェクトメンバー。名古屋芸術大学非常勤講師。これまでに、チェンバロをJ.マルビル、F.ボニツォーニの各氏に師事。

長谷川尚之 (企画/監修) *Naoyuki Hasegawa*

愛知県立大学国文学科卒。国語学専攻。オルガン奏法を脇山陽子氏に、コラール伴奏法を小田賢二氏に学ぶ。作曲法は独学。レパートリーはスヴェーリンク、ブクステフデ、パッヘルベルなどドイツオルガン楽派が中心。作曲でもバロックスタイルに倣った作品を書いてきた。バロック期の音楽家がそうであったように、演奏と作曲の両立を志向している。チェンバロに対する関心は、オルガンとの比較がきっかけで、チェンバロ・キットによる製作と研究書(「16、17、18世紀のチェンバロ製作」フランク・ハバート著)の邦訳を、ほぼ同時に始めた。現在、カトリック南山教会オルガニスト、日本オルガニスト協会(準)会員、名古屋バロック音楽協会会員。

ACCESS

電気文化会館 ザ・コンサートホール

〒460-0008 名古屋市中区栄2丁目2番5号

◆地下鉄東山線または
鶴舞線「伏見」駅④番出口より東へ徒歩2分

※駐車場の準備はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

